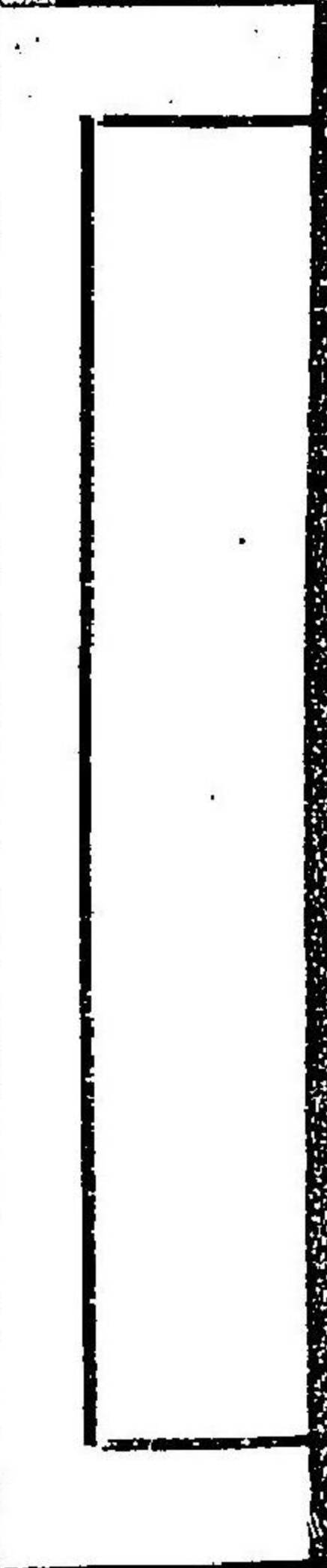


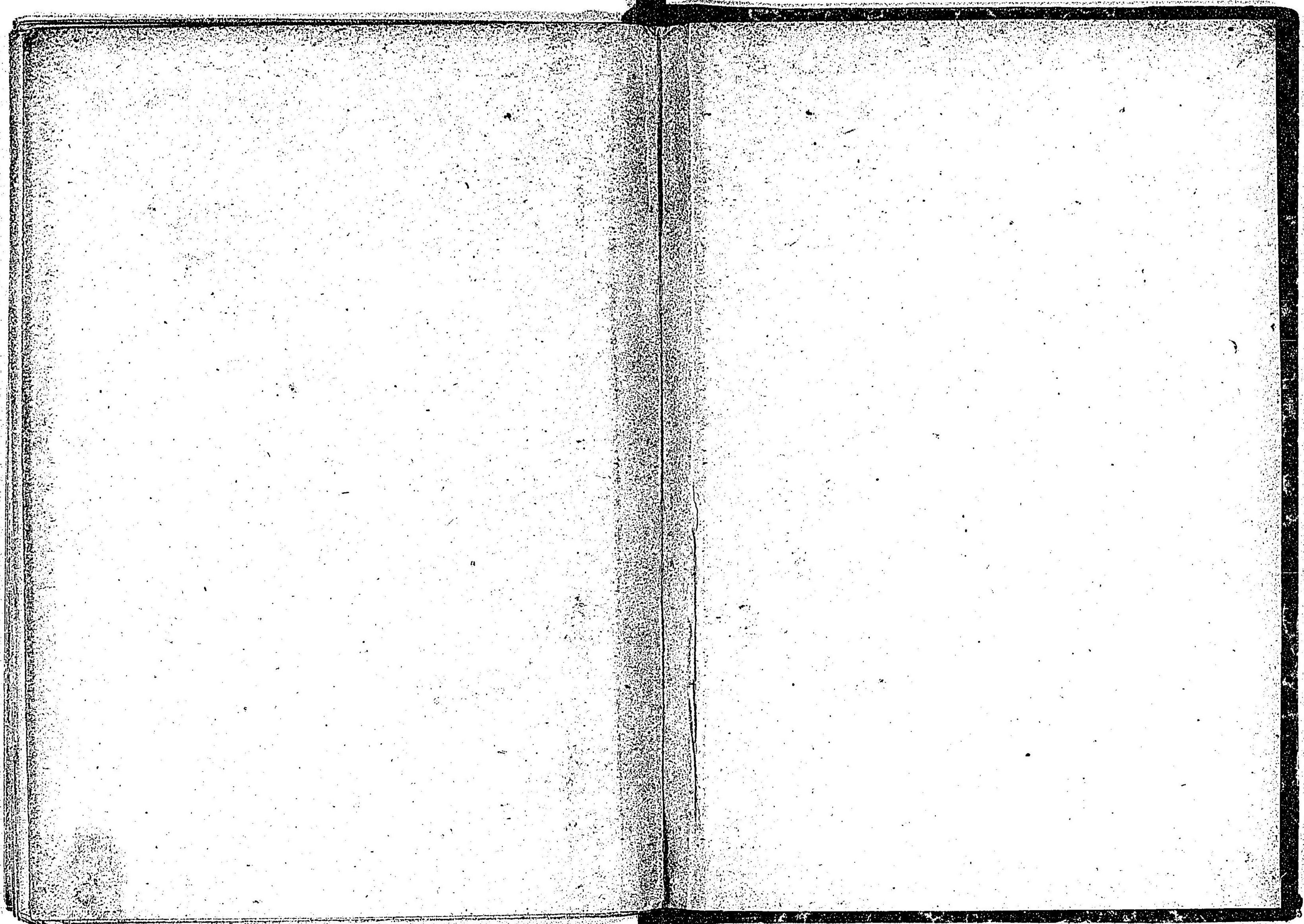
71

321

傷  
頭  
等  
差  
類  
例









傷項等差類例

第一類 咀嚼言語ノ機能障害

等差例第一條第六節

其一 第二項ノ例

銃創 上唇左口角ノ稍内方ヨリ上顎左齒床突起硬口蓋左半部ヲ

破壊シハイモル洞ニ達スル盲管創

(癒後ノ障害)

上唇下縁半圓形ノ欠損アリ左上門齒、犬齒第

一白齒ト共ニ同部ノ齒床突起及硬口蓋ノ左半部ヲ失シ口腔ハ

イモル洞ニ通シ舌ハ癒痕ノマメ短縮

頰關節強剛シテ頸ノ運動ヲ廢ス

其二 第五項ノ例

一銃創 左眼内眥ヲ下方ニ距ル一厘米ノ部ヨリ鼻腔咽頭ヲ貫キ



41-321



右顳額乳頭突起下三珊米ノ部ニ射出ス

(癒後ノ障害) 下顎關節假性强剛開口スルモ上下齒列ハ三珊米以上ヲ隔離スルヲ得ス上齒列ハ恒ニ浮動ノ感アリ硬、熱、冷物咀嚼ニ難ク嚥下ノ際咽頭ヨリ耳后ニ涉リ疼痛鼻腔狹小通氣不利且ツ言語鼻聲ヲ帶フ

(傍症) 右上肢舉上運動ハ軀幹ニ對シ五十度ニ制限セラレ握力ハ十三ヲ減ス

二 銃創 右頰口角部ヲ距ル五珊米ノ部ヨリ左頰ニ貫通ス

(癒後ノ障害) 口門狹窄上左犬齒、門齒三個下顎白齒一犬齒及左側門齒ヲ脱落シ咀嚼言語ノ機能ヲ妨ク

### 其三 第六項ノ例

一 銃創 下顎左犬齒部ヨリ右小白齒部ニ至ル骨傷貫通創

(癒後ノ障害) 下顎右白齒二犬齒一門齒四個及骨質ノ一部ヲ亡失シ創痕部皮膚骨膜ト癒着シ咀嚼言語ヲ妨ク

二 銃創 顔面貫通創下顎骨傷ニ由リ下顎隅部挫碎胸鎖乳頭筋ヲ傷ク

(癒後ノ障害) 口角歪斜左側ノ咀嚼機能ヲ廢シ食物頰齦ノ間ニ箝マリ手指又ハ楊枝ヲ用ヒサレハ排出スルヲ得ス兼テ癒痕牽縮ノタメ醜形ヲ貼ス

其四 例第三條第二項ニ由リ第一款ノ甲症ニ

下セルモノ

銃創 左下顎中央ヨリ右下顎隅ニ至ル貫通創  
(癒後ノ障害) 下顎左隅ニ假關節ヲ貽シ骨端相互接近スルニ由リ下齒列稍內方ニ轉移齟齬シ咀嚼ヲ妨ク



第二類 内臓器ノ機能障害 等差例第一 條第七節

其一 第五項ノ例

一 銃創 左胸鎖關節直上部ヨリ右下方ニ向ヒ約五珊米ノ盲管銃創ニ由リ肺ヲ傷ケ丸ハ右第六肋骨部ニ於テ抽出ス

(癒後ノ障害) 右胸僅ニ狭窄右肺下葉呼吸音微弱下半ハ濁音及ヒ輕微ノ麻擦音ヲ貽シ左側臥位ニ由リテ胸痛咳嗽ヲ發シ呼吸機能ヲ妨ク

二 銃創 左胸前面腋窩前縁ヲ距ル内上方三珊米ノ部ヨリ第七背椎ヲ左方ニ距ル一珊米ノ部ニ至ル貫通創

(癒後ノ障害) 創管部胸脇及背部ハ深呼吸ニ由リテ疼痛アリ大聲ヲ發スル克ハス打診上輕濁音聽診上呼吸音幽微粗礪ノ水泡音アリ左胸圍ハ右胸圍ヨリ狹小スルコト一珊米

(傍症) 左前膊ヲ水平ニ保チ上膊筋ヲ弛メサレハ胸脇牽引性疼痛アリ前膊知覺麻痺シ久シク下垂スレハ環小二指浮腫左上肢ハ前方及下方ニ運動スルノミ上膊中央ニテ一珊米瘦削シ握力十一ヲ減ス

其二 第六項ノ例

銃創 右胸前面乳房線ヲ外方ニ距ル一珊米ノ第七肋間ヨリ内側腋窩線第九肋間ニ至ル貫通創

(癒後ノ障害) 腋窩部射入口附近打診上輕濁音聽診上呼吸音微弱濕性水泡音ヲ放チ聲音震顫強烈トナリ右側臥及ヒ深呼吸ニ由リ胸脇疼痛時々咳嗽煤色痰ヲ咯出ス

其三 例第二條第一節ニ據リ第五款ノ甲症ト

ナセルモノ



銃創 左腋窩線部第七、八肋間ヨリ第一腰椎ノ左側約三珊米ニ至ル貫通創深サ十珊米腎盂ニ近接永ク瘻管ヲ貽セシモ切開治癒セリ

(癒後ノ障害) 癒後攝護腺尿道腦脊髓ニ異狀ナキモ膀胱ヲ主宰スル神經機能ノ障害ニ由リ利尿頻數一晝夜十四五回ニ至ル

第三類 頸若クハ腰ノ運動ヲ妨クルモノ 等差例第一條第八節

其一 第六項ノ例

一 打撲 器械體操階段飛降ノ際顛倒腰部ヲ打撲ス

(癒後ノ障害) 第十一胸椎ヨリ第二腰椎部敲打スレハ疼痛ヲ訴ヘ体ノ前屈ハ辛フシテ指尖下脚ノ中央ニ達スルノミ左右屈ハ三分ノ一ニ減シ后屈ハ全ク廢絶椅坐直立二十分時ニ至レハ腰部ニ一種不快ノ疼痛ヲ發シ步行三四百米突ニ至レハ又疼痛

ヲ感ス

二 打撲 器械體操飛降ノ際顛倒ニ由リ腰部ヲ打撲シ暫時失神セリト云

(癒後ノ障害) 第十二胸椎及第一腰椎ノ棘狀突起后方ニ突出シ壓スレハ鈍痛アリ前屈スルニ指尖ハ下脚ノ中央ニ達スルノミ左右屈ハ四分ノ一ニ減シ后屈ハ殆ント廢絶步行三四百米突ナレハ薦骨部ノ鈍痛及大腿后側ニ牽引性疼痛ヲ發ス

三 打撲 器械體操飛降ノ際臀部ヲ衝突ス

(癒後ノ障害) 第一第二腰椎棘狀突起程突隆其下部ヲ輕打スレハ不快ノ感アリ左右屈ハ五分ノ一ニ減シ後屈ハ僅ニ營ミ得ルノミ着坐椅坐二十分時ニ至レハ腰部ノ熱感及不快ノ感アリ飛跳疾走急劇ノ起臥ニ由リ掣痛アリ左大腿前外二面ハ一般ニ



知覺鈍麻シ膝蓋腱反射旺盛歩行三四百米突ニシテ腰痛ヲ發ス  
其二 例第三條第二項ニ據リ第一款ノ甲症ト

ナセル者

一 打撲 器械體操飛降ノ時腰部ヲ衝突ス

(癒後ノ障害) 第二腰椎棘突起部ヲ壓迫スルカ或ハ歩行ヲ持  
續セシムレハ腰部ニ鈍痛ヲ發シ反張運動ハ半ニ制限セラレ兩  
下肢ハ屢掣痛下肢内面知覺鈍麻ヲ貽ス

二 打撲 器械體操手摺演習躍進ノ際棒ヲ以テ第五腰椎部ヲ打  
撲ス

(癒後ノ障害) 反張運動ハ疼痛ノ爲ニ妨ケラレ歩行十四五分  
間チレハ腰痛ヲ發シ健歩スル能ハス體ヲ前屈スレハ兩大腿後  
面ニ掣痛ヲ感シ筋肉筑動ス

第四類 四肢ノ運動ヲ廢シ或ハ大ニ妨クル者 等差  
一條第九節

其一 第五項ノ例

一 銃創 右肘關節后外側ヨリ上膊外髁ニ至ル育管創

(癒後ノ障害) 右肘關節不全強剛前膊知覺運動共ニ麻痺諸指  
屈伸機能ヲ廢ス

二 銃創 右肩峰突起ノ前下方四珊米ノ部ヨリ上膊骨頭ヲ擦過  
シ斜メニ左下方肩胛下角ニ向ヒ該部ニ留丸此部ニ於テ丸ヲ抽  
出ス

(癒後ノ障害) 創痕部皮膚ト骨膜癒着シ肩胛關節不全強剛且  
右背第七、八、九、十肋骨部隆起少シク畸形ヲ貽シ右肺呼吸音  
微弱ナリ



三 銃創 右肩胛棘中央一指横徑下ヨリ同側鎖骨中央直下ヲ貫通ス

(癒後ノ障害) 右肩關節ハ受傷ノ初メヨリ反射的脱臼シ該肢ノ知覺運動共ニ麻痺シ回前、回後、舉上、屈伸共ニ廢絶指ハ辛クシテ半屈スルノミ健肢ニ比スレハ瘦削スルコト三珊米

四 銃創 左前膊上三分一部ニ於テ橈骨側ヨリ尺骨側ニ至ル貫通創

(癒後ノ障害) 肘關節ハ伸百十五度屈六十度ニ制限セラレ腕關節及諸指節ハ麻痺性强直ヲ貽シ回前回後及ヒ把握ノ運動全ク廢絶患肢ノ瘦削上膊中央ニ於テ三、前膊中央ニ於テ五珊米

五 銃創 左上膊中央前内方ヨリ后外方ニ至ル骨傷貫通創 (癒後ノ障害) 上膊骨ニ假關節ヲ貽シ肩關節強剛握力僅ニ

一、五患肢ノ瘦削上膊中央ニ於テ三、前膊中央ニ於テ一、五珊米

其二 第六項ノ例

一 銃創 左上膊骨頭ノ前外方ヨリ背部第十、第十一胸椎ノ左側ニ至ル盲管創ニシテ上膊骨頭ヲ破壊ス

(癒後ノ障害) 切除術後同關節全ク強剛シテ其用ヲ廢ス  
二 銃創 左上膊前面肩峰突起ノ下五珊米ノ部ヨリ肩胛下角ニ至ル骨傷貫通創破砕骨片ヲ抽出セリ

(癒後ノ障害) 左肩胛關節強剛殆ント運動ヲ廢ス  
三 砲彈創 左前膊及肘關節ニ彈片ヲ受ケ關節部ハ皮膚ノ損傷ニ止マルモ橈骨々折斷ヲ受ク

(癒後ノ障害) 骨折端全ク癒合セス前膊之レカ爲ニ屈曲シ肘



關節ハ伸展百五十度ニ止マリ腕關節ハ伸位ニ於テ強剛拇指ヲ除クノ他四指ハ僅ニ屈伸スルヲ得ルモ殆ント無力ナリ

四 銃創 左前膊中部ヲ貫通シ尺骨々傷ヲ兼ヌ

(癒後ノ障害) 破碎骨片ヲ抽出シ肘關節中度ノ屈位強剛腕關節モ亦癥痕牽縮ノ爲メ屈位強剛ヲ貽シ内外轉運動ヲ營ミ難シ

五 銃創 前膊下三分一部貫通橈骨々傷ヲ受ク

(癒後ノ障害) 折端踈疊癥痕ノ爲メ内外轉ヲ營ミ難ク腕關節ハ伸位ニ於テ強剛シ屈伸ヲ營ム能ハス

六 銃創 右手背手根部ノ拇指側ヨリ前膊橈骨側ノ腕關節ヲ距ル三珊米上部ニ貫通骨傷ヲ兼ヌ

(癒後ノ障害) 右腕關節外彎強直拇指ノ用ヲ廢シ其他ノ諸指用ヲ妨ケ患肢ノ瘦削前膊上部ニ於テ二珊米下部ニ於テ一珊米

七 銃創 右手背第五掌骨部ヨリ斜ニ手掌ニ向テ貫通シ掌骨ハ凡テ一部破碎ス

(癒後ノ障害) 第三、四、五掌骨中央ヲ切除セシ爲メ手掌短縮前膊回後運動ヲ廢シ腕關節強剛、中、環、小三指及示指第二節不全強剛ヲ貽ス

八 銃創 左大轉子ノ下四珊米ノ部ヨリ肛門ノ左側ニ至ル盲管ヲ創ニシテ同部ニ於テ丸ヲ抽出ス

(癒後ノ障害) 射入口部ニ一圓銀貨大ノ癥痕ヲ貽シ固ク皮下ノ筋骨ニ癒着シ膀關節ノ屈曲ハ百二十度膝關節ノ屈曲ハ五十度ニ制限セラレ患肢ノ瘦削大腿中央ニ於テ一、七珊米

九 銃創 右大腿下端ノ骨傷貫通創數月仰臥ノ爲メ馬足狀ヲナスニ由リ皮下切蹠術ヲ施セリ



(癒後ノ障害) 右膝關節周圍組織ノ癒痕收縮ニ由リ伸展ノ位置ニ強剛ス

十 銃創 左大腿上部前面ノ骨傷盲管創 (癒後ノ障害) 左下肢ノ真性短縮ニ珊瑚米ニシテ膝關節ノ伸展強剛ヲ貽ス

十一 銃創 左大腿下部ノ骨折貫通創ニシテ遊離骨片ヲ抽出ス (癒後ノ障害) 左膝關節ハ伸展ノ位置ヨリ起算シテ四十五度ニ止マリ足關節以下ノ腫起消退セス皮膚知覺過敏ニシテ按壓スレハ疼痛ヲ覺ヘ歩行ニ堪ヘ難ク下肢ノ運動ヲ妨ク  
十二 切創 馬匹ノ咬騷ヲ制センカ爲メ破壊セル石垣ヲ飛越セシトシ石尖ヲ以テ左アヒリス腱ヲ切斷ス (癒後ノ障害) 腱ノ斷端上下相距ル五珊瑚米時期已ニ縫合ニ適

セス疾走及足尖ヲ以テ體重ヲ支フル能ハス又患肢ヲ以テ起立シ能ハス患肢ノ瘦削踝上ニ於テ一珊瑚米  
十三 砲創 右骨盤部盲管創、右足背貫通創及ヒ左足擦過創 (癒後ノ障害) 右足趾趾ハ短縮シ足背ノ癒痕ハ陷凹シ其内側及ヒ前方ハ穹隆シ足趾彎曲シテ地ニ接セス足部ノ長サ健肢ニ比シテ一珊瑚米短縮跟骨后下方ニ轉位シ爲ニアヒリス腱緊張跛行患肢ノ瘦削大腿中央ニ於テ三、腓腸中央ニ於テ二、五珊瑚米  
其三 例第三條第二項ニ據リ等差ヲ下セル者  
い 第一款ノ甲症  
一 銃創 左前膊下部後面ノ中央ヨリ前面尺骨側ニ至ル骨傷貫通創破碎骨片ヲ摘出ス (癒後ノ障害) 左腕關節ノ屈伸半減示、中、環、小四指ノ屈伸



ヲ防ク

二 馬蹄傷 馬匹水飼與ノ際右肩胛部ヲ蹴ラル

(癒後ノ障害) 右肩胛關節ハ其運動ヲ制限セラレ前轉五十度後轉四十度外轉四十五度ニ止マル

三 銃創 右肩外方ヨリ肩胛骨下ヲ通過シ深部ニ留丸ズル盲管創

(癒後ノ障害) 膈背筋癒痕収縮ノ爲メ右上肢ノ運動ヲ妨ケ他動的外轉七十度前轉五十度後轉四十五度ニ止マル

四 銃創 右上膊骨頭部ノ骨傷貫通創ニシテ鎖骨外端ノ下四珊米ノ部ヨリ三角筋上後緣部ニ至ル

(癒後ノ障害) 上膊骨頭ノ一部ヲ失ヒ舉上運動ヲ廢シ患肢ノ瘦削上膊中央ニ於テ二、五前膊中央ニ於テ二珊米

五 銃創 左下脚外面ノ中央ヨリ後面中央ニ至ル軟部貫通創ニシテ出入口間ヲ切開ス

(癒後ノ障害) 癒痕固ク腓腸筋ニ癒着シテ足關節ノ伸展ヲ妨ケ患肢ノ瘦削下腿ノ上部ニ於テ一、五下部ニ於テ三珊米足踵ヲ正シク地ニ接スル能ハス

六 銃創 右大腿中央内外ノ軟部貫通創

(癒後ノ障害) 患肢ハ健肢ニ比シ瘦削スルコト大腿中央ニ於テ八膝膈上部ニ於テ二足關節上部ニ於テ五珊米佇立ニ方リ足蹴ヲ正シク地ニ接セントスレハ膝膈ヨリ腓腸ニ渉ル掣痛アリ

ろ 第一款ノ乙症

一 銃創 左肩關節前面ヨリ肩胛棘中央ニ至ル貫通創 (癒後ノ障害) 左肩關節強剛舉上ハ水平ニ止マリ回轉運動ヲ



妨ノ

二 銃創 左膝臑ヲ上方ニ距ル七珊米ノ部ニ於ケル軟部盲管創

(癒後ノ障害) 左膝關節ノ屈曲常態ニ復セスシテ跛行シ患肢ノ瘦削大腿中央ニ於テ四珊米下腿中央ニ於テ二珊米

は 第二款ノ甲症

一 銃創 右前膊外側下三分一部ノ盲管創

(癒後ノ障害) 癥痕腱鞘及皮膚ニ癒着シ腕關節ノ掌屈半ハニ制限セラレ中ノ環二指用ヲ廢ス患肢ノ瘦削前膊中央ニ於テ二珊米

二 銃創 左鎖骨下窩膊神經叢ノ内側ヨリ左肩胛内縁第五胸椎部ニ至ル貫通創

(癒後ノ障害) 患肢ノ瘦削上膊中央ニ於テ二珊米前膊中央ニ於テ三、五珊米握力ハ健手ニ比シテ三十四ヲ減ス

三 銃創 右前膊下端ノ背面ヨリ前面ニ貫通スル軟部創 (癒後ノ障害) 癥痕収縮ノ爲メ右腕關節強剛ス

四 砲創 左大腿前下部ヨリ外上方ニ向フ處ノ軟部貫通創 (癒後ノ障害) 左膝關節ノ屈曲ハ三十度ニ止マリ患肢ノ瘦削大腿ノ下三分一部ニ於テ三珊米下腿中央ニ於テ四珊米

に 第二款ノ乙症

一 銃創 右肩胛鎖骨關節内上方ヨリ同側肩胛棘ニ達スル貫通創

(癒後ノ障害) 右肩胛棘部癥痕癒着ノ爲メ肩關節前後回轉半ハニ制限セラレ



二 砲創 左大腿外側ノ下三分一部ノ上部ヨリ内下方ニ横走シ内側下三分一部ノ下方ニ達スル盲管創

(癒後ノ障害)

左大腿内側ノ癰痕四頭股筋ニ癒着シ膝ノ屈曲

ニ際シ疼痛アリ屈曲三十度ヲ超ル能ハス患肢ノ瘦削膝ノ上部

ニ於テ二珊米下腿中央ニ於テ五密米

三 銃創 左下脚上三分一部ノ内側ニ於ケル軟部盲管創

(癒後ノ障害)

射入口ノ癰痕深ク腓腸筋ニ癒着シ踝關節ノ背

屈百三十五度ニ制限セラレ直立スレハ足踵地面ヲ離ル、コト

半珊米患肢ノ瘦削下脚中央ニ於テ四珊米

第五類

指ヲ失シタルモノ

等差例第一條第十節

其一 第四項ノ例

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 一手ニ於テ拇指第一節ノ半ハ以下示指、中指ハ其指部、環指、小指ハ其掌骨ヲ併セ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 一手ニ於テ拇指ハ其全部、中指第二節以下環指、小指ハ其全部ヲ失ス

其二 第五項ノ例

一 砲創 左手背ニ於ケル粉碎骨折創右示指擦過

(癒後ノ缺損) 左手中、環、小三指ハ其掌骨ト共ニ失シ右示指

第三節畸形ヲ貽ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 一手ニ於テ拇指、中指、環指ハ其第二節以下小指ハ其全部ヲ失ス



三 凍傷

(癒後ノ缺損) 一手ニ於テ示指ハ其第二節以下中指、小指ハ全部、環指ハ其末節ヲ失ス

其二 第六項ノ例

一 銃創 左手背第一第二掌骨間ヨリ手掌拇指球ニ貫通シ進ンテ右中指第二節ヲ過キ環指、小指ノ第一節末端ヲ挫斷ス

(癒後ノ缺損) 左手ハ妨ナク右中指ハ第二節以下環指、小指ハ其全部ヲ失ス

二 銃創 左示指第二節ヨリ中指第三指骨間關節ヲ射斷ス

(癒後ノ缺損) 左示指ハ全部中指ハ第一節中央以下ヲ失フ

三 凍傷

(癒後ノ缺損) 右手拇指第二節以下示指第三節及小指全部ヲ

失フ

四 凍傷

(癒後ノ欠損) 一手ニ於テ中、環、小ノ三指全部ヲ失ス

其四 例第三條第二項ニ據リ等差ヲ下セルモ

い 第一款ノ甲症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 右拇指第二節ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 右示指、中指第二節ヲ失ス

三 凍傷

(癒後ノ缺損) 右示指、中指、環指ノ各第三節ヲ失ス



四 凍傷

(癒後ノ缺損) 右中指、環指、小指ノ第二節以下ヲ失ス

ろ 第一款ノ乙症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 左拇指第二節ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 右示指ノ全部ヲ失シ中指、環指用ヲ廢ス

三 凍傷

(癒後ノ缺損) 左示指、中指ノ第二節ヲ失ス

四 凍傷

(癒後ノ缺損) 左中指環指小指ノ第二節以下ヲ失ス

は 第二款ノ甲症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 右手環、小二指左手中、環、小三指各第三節ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 右中、環、小指各第三節ヲ失ス

三 凍傷

(癒後ノ缺損) 右示、中二指各第三節ヲ失ス

四 凍傷

(癒後ノ缺損) 右拇指第二節ノ半ハヲ失ス

に 第二款ノ乙症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 左拇指第二節ノ半ハヲ失ス



二、凍傷

(癒後ノ缺損) 左示指中指ノ各末節ヲ失ス

三、凍傷

(癒後ノ缺損) 左中、環、小指ノ各末節ヲ失ス

第六類 指ノ用ヲ廢シタル者等差例第一條第十一節

其一 第四項ノ例(兩手ノ故ヲ以テ)

銃創 左右兩手掌骨折貫通創ニ由リ破碎骨片ヲ抽出ス

(癒後ノ障害) 左諸指ハ一般ニ掌面ニ向テ彎屈シ中、環、小指

ハ中度ノ屈位ニ強剛シ右手指モ亦諸指掌面ニ屈曲ス其拇指ヲ

除ク四指ハ輕屈位ヲ取リ加ルニ示指ハ掌骨指骨關節ニ於テ尺

骨側ニ彎屈スルコト約百六十度中指モ亦輕度ノ同一屈曲ヲナ

シ右腕ハ癢痕ノタメ伸展ヲ妨ク

其二 第五項ノ例

刺創 散兵教練射擊ノ際村田銃鋤杖ヲ以テ右手掌中央部ニ刺創

ヲ受ク

(癒後ノ障害) 總指屈筋腱癢痕ノ爲メ諸指彎屈シテ把握ノ用

ヲ廢シ腕關節ハ背屈ノ位置ニ強剛ス

其三 第六項ノ例

挫創 古靴修理ノ際鐵槌ヲ以テ左拇指ノ尺骨側ヲ打撃シ同時ニ

釘頭屈折シテ同部ヲ刺傷セリ

(癒後ノ障害) 拇指及拇指球ハ知覺運動共ニ麻痺シ示指腕前

骨第一指骨關節屈伸ヲ廢シ拇指ノ中間筋肉瘦削腕關節ノ運動

大ニ妨ケラル

其四 例第三條第二項ニ據リ等差ヲ下セル者



第一欸ノ甲症

一 銃創 左手掌貫通骨折創

(癒後ノ障害) 癥痕収縮ノ爲メ左中、環、小指用ヲ廢シ拇、示指ノ用ヲ妨シ

二 砲創 右手第一第掌骨ニ且ル骨折創

(癒後ノ障害) 右第一第二掌骨間ノ癥痕ハ皮下ノ骨及軟組織ト癒着シテ移動セス拇指示指ハ全ク強剛シテ屈曲スル能ハス其背面知覺鈍麻シ握力二十九ヲ減ス

三 凍傷

(癒後ノ障害) 右示、中、環三指第一關節ハ百二十度以内ニ屈スル能ハス且ツ中、環二指第二關節ハ伸展ノ位置ニ強剛シ握力ヲ減スルコト二十七

四 銃創 左手背第一第二掌骨間ヨリ手掌拇指球部ヲ貫通ス

(癒後ノ障害) 左拇指ハ全ク其用ヲ廢シ示指ハ大ニ屈伸ヲ妨ク

第一欸ノ乙症 實例ヲ缺ク

第二欸ノ甲症

銃創 左示指第二關節背面ヨリ第二指骨上部拇指側及第一指骨ノ掌面及右示指第一節上部ノ拇指側ヨリ掌指關節ヲ穿透シ該關節直上ノ背面ニ至ル骨傷貫通創

(癒後ノ障害) 右示指第一節ハ三分ノ一ニ短縮左示指ハ第一指骨間關節強剛其第二節ハ三分ノ二第三節ハ半ハニ短縮ス

第二欸ノ乙症

銃創 左手背中央ヨリ手掌中央ニ至ル貫通創



(癒後ノ障害) 右手背第二掌骨ノ基礎部骨質肥厚癥痕總諸指伸筋拇指第二指骨伸筋腱ト癒着掌面ニ於テハ長短兩拇指屈筋及淺深諸指屈筋腱ト癒着シ左拇指ハ他動的ニ屈伸シ得ルノミ他ノ四指ハ好シテ屈位ヲ取ルモ自動スルヲ得握力減スルコト十五

第七類

第一趾ヲ併セ三指以上ヲ失シタル者等差例第一條第十三節

其一 第四項ノ例(兩足ノ故ヲ以テ)

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 兩足總趾ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 右足踝關節ノ下三分一左足第一趾ノ全部ヲ失

ス

其二 第五項ノ例(兩足ノ故ヲ以テ)

凍傷

(癒後ノ缺損) 右第一、第二、第三、第四趾ノ第二節以下左第一、第二、第三、第四趾ハ各第一節ノ半ハ以下第五趾ハ末節ヲ失ス

其三 第六項ノ例

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一第二趾ハ各全部第三趾ハ第二節第四、第五趾ハ各末節ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 右足第一、第二、第三、第四、第五趾ハ第二節以下同第二趾ハ末節ヲ左足第一趾第二節ノ半ハ第二、第三、第四、第



五趾ハ各末節ヲ失ス

三 凍傷

(癒後ノ缺損) 右足第一趾ハ全部第二、第三、第四趾ハ各第二節第五趾ハ末節左足第一、第二、第三趾各末節ヲ失ス

四 凍傷

(癒後ノ缺損) 右足第一、第二、第三趾ハ各第一節ノ半ハ第四趾第五趾ハ各末節左足第一、第二趾ノ各末節ヲ失ス

五 凍傷

右足第一趾第一節ノ半ハ第二趾ノ第二節左足第一趾ノ全部第二趾第三趾ノ各第二節以下ヲ失ス

六 凍傷

(癒後ノ缺損) 左第一、第二趾ハ其全部第三趾ノ第二節第四趾ノ末節右足第二趾末節ヲ失ス

其四 例第三條第二項ニ據リ等差ヲ下セル者

イ 第一款ノ甲症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一、第二、第三趾ノ各第二節以下ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾ノ全部第二、第三趾ノ各第二節以下ヲ失ス

三 凍傷

(癒後ノ缺損) 右足第一趾第二節第二趾第三節左足第一及第二趾ノ末端ヲ失ス

ろ 第一款ノ乙症



一 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾ノ第二節第二第三趾ノ各末節ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾ノ全部第二、第三趾ノ各末節ヲ失ス

第八類 頭首ノ醜形

等差例第二條第二節

其一 第四款ノ甲症

砲創 右眉毛上三珊米、部ヨリ斜ニ内下方ニ向テ前頭骨ヲ傷リ剛腦膜ニ達ス巾二珊米長十珊米  
(癒後ノ障害) 右眉毛上ヨリ内下方ニ長サ八珊米ノ大癍痕ヲ貽シ醜形ヲ呈ス

其二 第五款ノ甲症

馬蹄傷 鼻梁中央ノ右側ヨリ横走シテ右顴骨ニ達スル約六珊米顴骨ノ上顎突起上顎ノ前上兩壁ヲ破碎ス  
(癒後ノ障害) 眼球稍下方ニ牽引セラレ右眼下部稍陷没右鼻腔稍狹窄シテ快通セス稍開口ヲ妨ク

第九類 一眼ノ視力ヲ妨クル者

等差例第二條第三部

第四款ノ乙症

一 異物竄入 監的手勤務中銃丸ノ爲メ土砂反撥右眼ニ入ル  
(癒後ノ障害) 角膜粗糙其内半溷濁視力七分ノ二ニ減ス  
二 打撲 單砲操砲演習中拉繩ヲ牽引スルノ際繩鈎反彈シテ左眼ヲ打撲ス  
(癒後ノ障害) 戶外ニ出レハ羞明シ物體ヲ明視スル能ハス



「スネルレン」氏視力表ノ二十號ハ其字數ヲ算シ得ルノミ形狀ヲ識別スル能ハス

第十類 一耳ノ機能ヲ妨クルモノ 等差例第二條第四節

其一 第一款ノ甲症

馬蹄傷 馬匹手入ノ際左顛顛部ニ受傷鼓膜穿孔

(癒後ノ障害) 鼓膜ハ僅ニ其後上部ニ薄片ヲ殘スノミニシテ全ク其用ヲ廢ス

其二 第三款ノ乙症

打撲 馬首ヲ以テ左耳ヲ打撲シ鼓膜穿孔ス

(癒後ノ障害) 大サ鼓膜ノ三分一ニ當ル卵圓形穿孔ヲ貽シ蟬鳴ヲ感シ袖時計ヲ耳邊ニ來セハ二珊米ニシテ始メテ憂々ノ音ヲ聽ク若シ健耳ヲ閉ツルトキハ耳邊ニ於テスルモ人語ヲ解シ

難

第十一類 支肢ノ運動ヲ妨クルモノ 等差例第二條第五節

其一 第三款ノ甲症

銃創 左鼠蹊部ヨリ同側臀部ノ上部正中線ヨリ二指橫經ノ部ニ貫過スル軟部創

(癒後ノ障害) 坐位ヲ取ルニ方リ創内癍痕牽引ノマメ臀部ニ接スル能ハス歩行ニ際シ健足ト歩間ヲ同フスル能ハス

其二 第三款ノ乙症

一 銃創 右前膊下三分一部外側ヨリ同内側ニ貫通スル軟部創 (癒後ノ障害) 癍痕牽縮ノ爲メ右腕關節ノ反屈ヲ妨ケ握力僅ニ二十ニ減ス

二 銃創 右足内踝ノ前上部ヨリ四珊米ヲ隔ツル同後上部ニ至



ル骨擦過貫通創

(癒後ノ障害) 癥痕深ク骨ニ癒着シ足關節ノ運動十分ノ八ニ制限セラレ健歩ヲ妨ク

其三 第四款ノ甲症

一 砲創 右前膊下端ノ前面ヨリ射入セル軟部盲管創

(癒後ノ障害) 右腕關節輕度ノ強剛

二 銃創 右大腿下部前内側ノ軟部盲管創

(癒後ノ障害) 癥痕皮下ニ癒着シテ健歩ヲ妨ク患肢ハ健肢ヨ

リ瘦削スルコト大腿中部ニ於テ五珊米下脚中部ニ於テ三珊米

三 銃創 右下脚下三分一部骨折貫通創一久時ノ仰臥ニ由テ馬

足狀トナリ皮下切腱術ヲ行フ

(癒後ノ障害) 癥痕癒着トアヒリス腱ノ牽引トニ由リ足關節

ノ運動ヲ妨ク

四 銃創 左足蹠軟部貫通創ニシテ外踝ノ直下六珊米ノ部ヨリ

跟骨下ヲ地平ニ内方ニ進ミ舶樣骨結節ノ下内後方五珊米ノ部

ニ至ル

(癒後ノ障害) 足蹠横走ノ癥痕ニ由テ軟部ヲ牽引シ平等ニ足

蹠ヲ地ニ接スル能ハス

五 銃創 右足蹠中央ヨリ外側ニ貫通シ跗前骨ヲ破碎ス

(癒後ノ障害) 創痕部皮膚ト骨膜癒着シ步行ノ際稍跛行ス

其四 第四款ノ乙症

一 銃創 左肩胛骨鎖骨關節ノ上方四珊米ノ部ヨリ第四胸椎ノ

左方一指横徑ノ部ニ至ル貫通創

(癒後ノ障害) 射入口ノ癥痕僧帽筋膜ニ癒着シ爲ニ左上肢ノ



舉上ヲ妨ク

二 銃創 左前膊下三分一ノ外側盲管創

(癒後ノ障害) 受創部骨肥大指頭大ノ瘤狀ヲナシ該肢ノ回轉運動ヲ妨ク

三 銃創 左前膊後面中央ヨリ前面中央ニ至ル軟部貫通創

(癒後ノ障害) 左橈骨神經分布區域ニ於ケル前膊及手指伸筋ノ輕麻痺及腕關節輕強剛

四 銃創 左大腿ノ外側ヨリ前面ニ至ル軟部貫通創

(癒後ノ障害) 左膝關節輕度ノ彎屈ヲ貽シ該下脚僅ニ瘦削歩行ノ際疼痛ヲ覺フ

五 銃創 左膝脰部腓骨頭后方二珊米ノ部ヨリ腓腸筋肉頭部ニ至ル貫通創

(癒後ノ障害) 患肢ノ瘦削二珊米癢痕牽縮ノタメ少シク膝關節ノ屈伸ヲ妨ク

六 銃創 左下脚下三分一部前内方ヨリ前外方ニ至ル脛骨々傷貫通創

(癒後ノ障害) 筋肉骨ニ癒着シ且ツ筋肉瘦削シテ健肢ニ比スレハ周圍一珊米ヲ減ス

### 其五 第五款ノ甲症

一 銃創 左上膊上部ノ背面ヲ穿テ更ニ左胸後腋下線肩胛下角ノ左十五珊米ノ部ヨリ第八胸椎ノ左一珊米ノ部ニ至ル貫通創

(癒後ノ障害) 癢痕牽縮ノ爲メ左上腋ノ舉上百六十度ニ制限セラル



二 銃創 右前膊前面ニ於テ肘關節ノ上方六珊米ノ部ヨリ同高部尺骨側ニ至ル骨傷貫通創

(癒後ノ障害) 右前膊回前運動ヲ妨ク

三 銃創 左大腿中央部前面ヨリ後面ニ貫通スル軟部創

(癒後ノ障害) 左脛骨部ニ疼痛アリテ少シク歩行ヲ妨ク

四 銃創 左大腿上部内側ヨリ右臀部肛門ノ外方九珊米ノ部ニ至ル軟部貫通創

(癒後ノ障害) 射入口ノ癒痕薄股筋ニ癒着シ右大腿ノ外送ヲ妨ク

其六 第五款ノ乙症

一 銃創 左胸第三肋骨部ヨリ左上膊後部ノ上方ニ至ル軟部貫通創

(癒後ノ障害) 創痕部皮下癒着ヲ貽シ僅ニ左上肢ノ舉上ヲ妨ク且ツ肘關節ノ最輕不全強剛ヲ貽ス

二 馬蹄傷 駄馬ノ爭鬪ヲ引キ分ントシテ左足背ニ受傷ス

(癒後ノ障害) 左足第一、第二、第三蹠骨ト跗骨ノ關節部骨質肥厚着靴ヲ妨ク

第十二類 示指又ハ拇指示指ヲ除キ他ノ二指ヲ

失シタル者 等差例第二條第六節

其一 第二款ノ甲症

一 銃創 右手示指第一節背面ヨリ其前面ニ至ル骨傷貫通創

(癒後ノ缺損) 右示指全部ヲ失ス

二 砲創 右手第四、第五掌間ノ指骨關節骨傷



(癒後ノ缺損) 右環小二指全部ヲ失ス

其二 第二款ノ乙症

一 馬咬傷

(癒後ノ缺損) 右示指第二節以下ヲ失ス

二 銃創

(癒後ノ缺損) 左示指全部ヲ失ス

其三 第三款ノ甲症

凍傷

(癒後ノ缺損) 右示指第三節ヲ失ス

其四 第三款ノ乙症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 左示指第三節ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 左環指ノ全部ヲ失シ小指ノ用ヲ廢ス

第十四類 指ノ用ヲ廢シタル者等差例第二例第七節

其一 第二款ノ甲症

銃創 左示指第二指骨間關節ノ背面ヨリ同第二節上部ノ拇指

側及第一節ノ背面ニ通スル骨傷銃創竝ニ右示指第一節上部

ノ拇指側ヨリ掌指關節ヲ穿透シテ該關節直上部ニ至ル貫通

創

(癒後ノ障害) 右示指第一節ハ三分ノ一ニ短縮シ左示指第一

指骨間關節強剛第二節ハ三分ノ二ニ第三節ハ半ニ短縮左右示

指ノ用ヲ廢ス

其二 第二款ノ乙症



銃創 右拇指頭ヨリ同指根橈骨側ニ達スル骨傷貫通創

(癒後ノ障害) 右拇指伸展ノ位置ニ強剛シテ其運動ヲ廢ス

其三 第三款ノ甲症

一 銃創 右手背示指第一關節上部橈骨側ヨリ掌面示指中指根間部ニ至ル骨折貫通創

(癒後ノ障害) 右示指中指第一、第二關節不全強剛ヲ貽ス

二 銃創 左手背第二掌骨幹部ヨリ同手掌第二、第三骨間部ニ至ル骨傷貫通創

(癒後ノ障害) 左示指短縮且瘦削シ其用ヲ廢ス

三 銃創 右手背拇、示兩指ノ根部間ヨリ腕關節背面ニ至ル軟部貫通創

(癒後ノ障害) 拇指掌關節伸位強剛ヲ貽シ其用ヲ廢ス

其四 第三款ノ乙症

一 銃創 左前膊外側後方肘關節直下ヨリ掌面ノ内側ニ至ル貫通創

(癒後ノ障害) 左拇指ノ用ヲ廢ス

二 銃創兼切創 左手掌拇指球部ヨリ拇指ニ移ラントスル部ヨリ手背第二掌骨上ニ至ル骨傷貫通創及ヒ中指末節ノ掌面及小

指球部ニ切創アリ

(癒後ノ障害) 左示指ハ第二掌骨々傷ノ爲メ短縮且無力ニシテ用ヲ廢ス

其五 第四款ノ甲症

一 銃創 右示指第一指骨間關節ノ背面ヨリ掌面ニ至ル骨傷貫通創



(癒後ノ障害) 右示指第二節三分ノ一ニ短縮シ第一指骨間關節強剛シ且第二節以下拇指側ニ彎曲ス

二 打撲 防禦工事鹿柴構設ニ從事中大槌ヲ以テ右手背ヲ打撃セラル

(癒後ノ障害) 右手環、小二指第一指節關節ニ九十度ノ屈曲強剛ヲ貽シ強テ伸展スルモ百度ノ超ル能ハス該二指ノ掌指關節ハ百七十度ヲ超テ屈伸スル能ハス

其六 第四款ノ乙症

一 銃創 左示指貫通創ニ由リ其末節一部ヲ失ス

(癒後ノ障害) 左示指第一指骨間關節ハ百十度内ニ第二指骨間關節ハ百七十度以内ニ屈曲スル能ハス

二 銃創 右中指環指ニ擦過創ヲ受ケ骨ノ一部缺損ス

(癒後ノ障害) 右中指屈伸ヲ妨ケ環指第二關節強剛ヲ貽シ其用ヲ廢ス

三 射創 戰地不時使役勤務中信管爆發左手掌面ニ血管創ヲ受ケ骨傷ス

(癒後ノ障害) 左手掌面癢痕收縮ニ由リテ狹小拇指ノ外轉僅ニ牽制セラレ示指ハ常ニ輕度ニ屈曲シ屈伸共ニ完キヲ得ス中指モ亦屈曲ヲ妨ク

第十五類 趾ヲ失シタル者等差例第二條第八節

其一 第一款ノ甲症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第二趾ノ全部ヲ失ス

二 凍傷



二 (癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第五趾ノ全部ヲ失ス

三 凍傷

(癒後ノ缺損) 右足第一趾ノ全部第二趾ノ第三節及左足第一趾ノ第二節ヲ失ス

四 凍傷

(癒後ノ缺損) 左右兩足第一趾第一節ノ半ハ以下及右足第三趾ノ末端小部分ヲ失ス

其二 第一款ノ乙症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾全部第五趾第三節ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾ノ全部第二趾第三節ヲ失ス

三 凍傷

(癒後ノ缺損) 左右第一趾第二節ノ半ハ及右第二趾第二節以下ヲ失ス

四 凍傷

(癒後ノ缺損) 左右兩足第一趾第二節ヲ失ス

五 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第二節以下第二趾全部ヲ失ス

六 凍傷

(癒後ノ缺損) 左右兩足第一趾第二趾ノ各第二節以下ヲ失ス

七 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第一節ノ半ハ及第二趾第三



節ヲ失ス

八 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第二節以下第五趾全部ヲ失ス

其三 第二款ノ甲症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 左足第一趾第二節ヲ失シ右足第一趾用ヲ廢ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第二節第二趾第三節ヲ失ス

三 凍傷

(癒後ノ缺損) 右足第一趾ノ第二節兩足第二趾ノ趾尖ヲ失ス

四 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第一節ノ中央以下ヲ失ス

五 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第四趾ノ各末節ヲ失ス

六 凍傷

(癒後ノ缺損) 右足第一趾第一節末端以下第二趾第三節ヲ失ス

七 凍傷

(癒後ノ缺損) 左足第一趾ハ第一節根部ヨリ同第二趾及右第一趾ハ尖端軟部ヲ失ス

八 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第二第三趾ノ各全部第四第五趾ハ各第二節以下ヲ失ス



節ヲ失ス

八 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第二節以下第五趾全部ヲ失ス

其三 第二款ノ甲症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 左足第一趾第二節ヲ失シ右足第一趾用ヲ廢ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第二節第二趾第三節ヲ失ス

三 凍傷

(癒後ノ缺損) 右足第一趾ノ第二節兩足第二趾ノ趾尖ヲ失ス

四 凍傷

- 五 凍傷 (癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第一節ノ中央以下ヲ失ス
- 六 凍傷 (癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第四趾ノ各末節ヲ失ス
- 七 凍傷 (癒後ノ缺損) 右足第一趾第二節末端以下第二趾第三節ヲ失ス
- 八 凍傷 (癒後ノ缺損) 左足第一趾ハ第一節根部ヨリ同第二趾及右第一趾ハ尖端軟部ヲ失ス
- 九 凍傷 (癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第二第三趾ノ各全部第四第五趾ハ各第二節以下ヲ失ス



其四 第二款ノ乙症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第二、第三、第四趾ハ各三節第一趾ハ僅ニ趾頭軟部ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第一趾第二節ヲ失ス

三 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第二、第三、第四、第五趾ノ各第二節以下ヲ失ス

其五 第三款ノ甲症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第二、第三、第四趾ノ全部ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第三、第四趾ノ全部第五趾ノ第二節以下ヲ失ス

其六 第三款ノ乙症

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 一足ニ於テ第二、第三、第四趾ノ各第二節以下ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 左足第三趾ハ其全部右足第三趾ハ第二節第四趾ハ末節ヲ失ス

第十六類

趾ノ用ヲ廢シタル者

等差例第二條第九節

第三款ノ甲症ノ一例

他ハ實例ヲ缺ク



砲創 右足第一趾根ノ内側同第二第三趾骨間部

(癒後ノ缺損) 第一趾ハ伸展ノ位置第二趾ハ反張ノ位置ニ強剛ニ歩行ノ際患肢ヲ先踏スルニアラサレハ患部疼痛アリ

第十七類 指趾ノ缺損ヲ兼子タル者

其一 第二項ノ例

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 右手示、中、環、小ノ四指各第二節左手拇指第

一節ノ半ハ以下示、中ノ二指全部環、小ノ二指ハ掌骨ヲ併セ

右足第一趾ノ第二節第二趾ノ第三節左足第一趾ノ全部第二節

三趾ノ各第三節ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 右手示指第二節ノ半ハ環指第二節、小指第一節

二ノ半ハ左手拇指ハ其尖端示指第二節ノ半ハ中、環二指第二節  
小指第一節ノ半ハ左右兩足前半ヲ失ス

三 凍傷

(癒後ノ缺損) 右手拇指第一節ノ半ハ示、中、環、小指各第二

節左手拇指第二節示、中、環、小指ノ各第一節ノ半ハ右足第一

趾第二趾ノ各第二節左足第一趾ノ全部第二趾ノ第三節ヲ失ス

其二 第三項ノ例

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 右手示、中、環指各第一節ノ半ハ小指第二節

左手拇指ノ全部示、中、環指ノ各第三節、右足第一、第二、第三

趾ノ各第三節左足第一趾、第二趾ノ各第二節以下ヲ失ス

其三 第五項ノ例



一 凍傷

(癒後ノ缺損) 右手拇指ノ全部右足第一趾第一節ノ半ハ、左足第一趾第一節ノ半ハ第二趾第三趾ノ各第三節ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 右手環指第二節ノ半ハ小指第二節、右足第一趾全部第二、第三、第四、第五趾ノ各第二節、左足第一趾ノ第二節ヲ失ス

其四 第六項ノ例

一 凍傷

(癒後ノ缺損) 左手示、中二指各第二節右手小指末節 左足第一趾全部第二趾末節 右足第一趾第二節ヲ失ス

二 凍傷

(癒後ノ缺損) 左手小指第一節ノ半ハ 右足第二、第三、第四趾ノ各第二節以下 左足第一、第二、第三、第四趾ノ各第二節ヲ失ス

指ヲ失シタルモノ及ヒ其用ヲ廢シタルモノヲ一括列記スレハ左ノ如シ

失シタル者

廢シタル者

拇指ヲ併セ三指以上示指、中指、環指、小指ヲ併セ

四(五)項

五(六)項

拇指示指ヲ併セ示指中指環指ヲ併セ拇指

五(六)項

六項(一、二款)

指示中指ヲ併セ  
拇指示指ヲ除キ他ノ三指

六項(一、二款)

二(三)款

示指  
拇指示指ヲ除キ他ノ二指

二(三)款

三(四)款



中指若クハ環指若クハ小指ヲ全失シ又ハ其用ヲ廢シタルモノ等  
服務上ノ差支ニ由リ免除ヲ要スルトキハ第五款トス  
趾ヲ失シタル者及其用ヲ廢シタル者ヲ一括列記  
スレハ左ノ如シ

失シタル者 用ヲ廢シタル者

第一趾ヲ併セ三趾以上 六項(二款) 二款

第一趾ヲ併セ二趾 一款 三款

第一趾 二款

第一趾ヲ除キ他ノ四趾 三款

第一趾ヲ除キ他ノ三趾 三款

第一趾ヲ除キ他ノ二趾ヲ失シタルモノ及第一趾ノ用ヲ廢シタル  
モノ若クハ第一趾ヲ除キ他ノ四趾ノ用ヲ廢シタルモノニシテ服

務上ノ關係ニ依リ免除ヲ要スルトキハ第五款トス



2/35

Vertical text in the right margin, possibly bleed-through from the reverse side of the page.



明治二十八年十月二十八日印刷

明治二十八年十一月三日發行

陸軍省醫務局第二課

東京府平民

發行兼印刷者

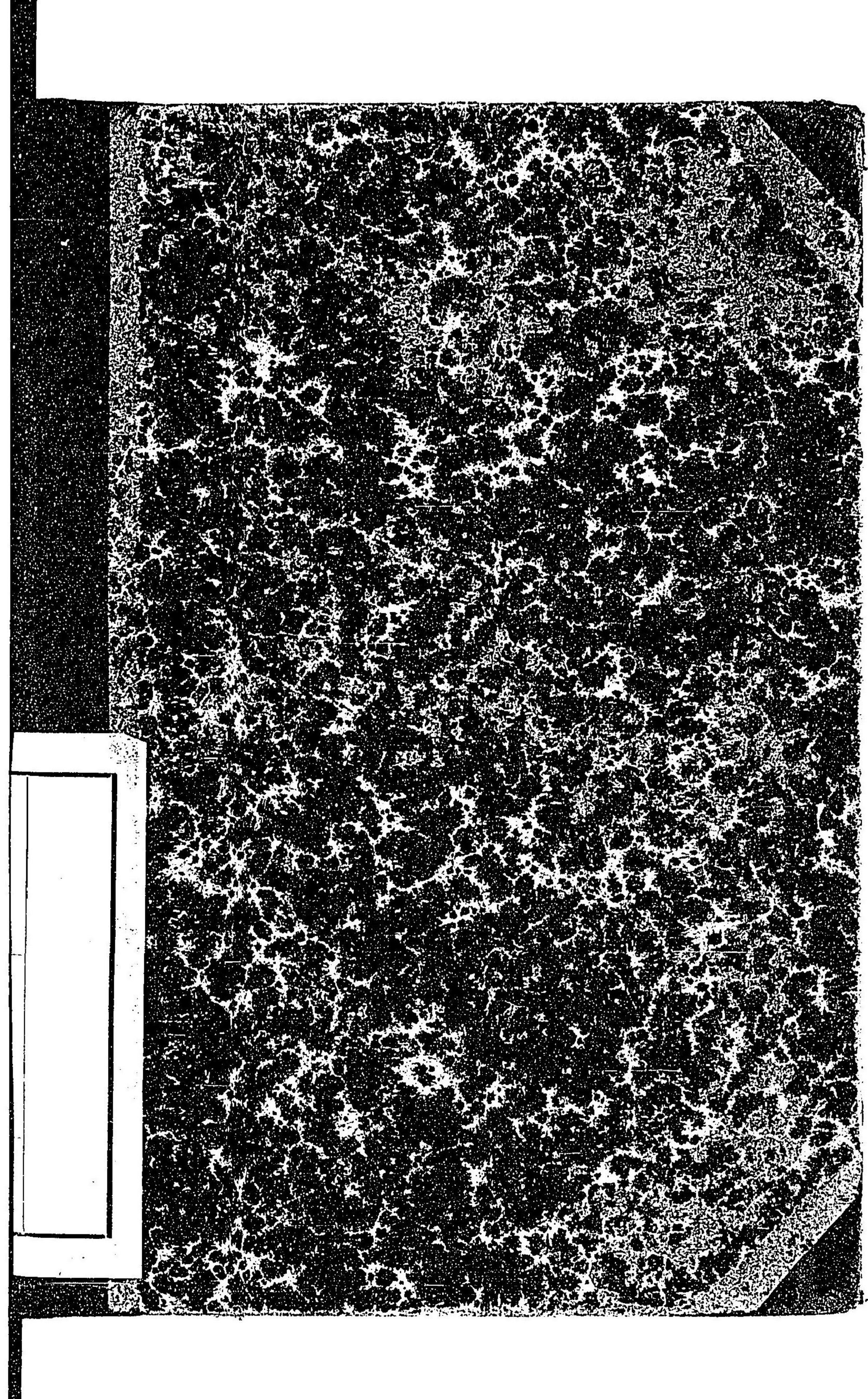
小林又七

京橋區五郎兵衛町  
二十一番地



71
321







71  
321

059680-000-3

71-321

傷項等差類例

陸軍省医務局／編

M28

CBH-0333

